

2023年4月

会員各位

一般社団法人 型技術協会

第33回型技術協会賞受賞者の決定について

本会では、型技術ならびに型産業のより一層の発展を図ることを目的に「型技術協会賞」を設け、1991年より「功績賞」「技術賞」「型技術論文賞」、1996年より「型技術者会議」および「型技術ワークショップ」の発表より総合的に優秀な講演者等を顕彰する「奨励賞」が設置され、特に優れかつ貢献度の高い型に関する技術等に対して、毎年顕彰を行っております。本年もそれぞれの受賞者を決定いたしましたので、ここに各々の受賞者をお知らせいたします。

なお、本賞における賞金および表彰に関する費用につきましては、(公財)金型技術振興財団の協力を得て行っております。

表彰式は「型技術者会議2023」開催中の下記日程で行います。多数のご参加をお願いいたします。

贈賞式(総会含む)

日時：2023年6月22日(木) 13:30～14:45

場所：大田区産業プラザ PiO

〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20

(JR 京浜東北線 蒲田駅より徒歩12分、京浜急行 京急蒲田駅より徒歩2分)

* 「型技術者会議2023」の参加はお申込みが必要となります

第33回型技術協会賞

「功績賞」

型技術の進歩、向上、発展に関して特に功績の大きかった個人

受賞者 国枝 正典 (元東京大学)



放電加工や電解加工の物理的現象の解明に真摯に取り組まれ世界的に研究を先導するとともに、新加工法の提案や新技術の開発にも取り組んでこられた。その成果は難加工材料の高精度・微細加工技術の発展に大きく寄与するとともに、型関連技術や金型関連産業の発展にも大きく貢献するものである。

「型技術論文賞」

「型技術」誌に掲載された特に優れた論文等の著者

受賞論文及び執筆者

アルミ溶湯保持に高出力ヒータを用いた省エネルギーへの取組み (2022.1月号)

竹内 章浩 (中部電力ミライズ株式会社)

フォトエッチング+拡散接合による3D製品 (2022.3月号)

佐々木 昭俊 (株式会社アロン社)

自動車向け冷間成形用超ハイテン材とプレス成形技術 (2022.10月号)

新宮 豊久、木村 英之 (JFEスチール株式会社)

「奨励賞」

型技術者会議および型技術ワークショップにおける優秀講演者および連名者

「型技術者会議 2022」

被削性に優れた冷間工具鋼「SLD-f」の加工事例

植木 道男、桐山 学、阿部 行雄（日立金属株式会社）

金属 3D プリンタを用いたダイカスト金型鋼造形への残留応力開放技術の適用

網岡 弘至、新家 一郎（株式会社ソディック）

「型技術ワークショップ 2022」

使えば使うほど金型特性が向上する副資材

田端 英二、古川 雄一（トヨタ自動車株式会社）

組立品の生産効率を向上させる「型内組立」

赤塚 広樹（キャノンモールド株式会社）

小林 俊樹（キャノン株式会社）

自動造形が可能な金属 3D プリンタと金型自動補修

岡本 絵里香、青山 英樹（慶應義塾大学）

上田 真広（DMG 森精機株式会社）

山崎 和雄（カリフォルニア大学）

※今回「技術賞」の該当者はありません
※所属は論文掲載時による